

三成小だより

令和6年度 1月号

令和7年1月8日
富山市立三成小学校

令和7年巳年、脱皮して以て大蛇となる

校長 若狭 茂

(過去の自分を脱ぎ捨て、新たな自分となる)

不思議なもので、毎日同じ「日没・日の出」のはずですが、大晦日から元日にかけては、何だか「鳥居」や「寺門」をくぐったような気がします。昨年末の「今年のクリスマスは…」「県内・国内外の重大ニュースは…」「今年の漢字は…」「流行語大賞は…」「レコード大賞は…」「NHK紅白歌合戦は…」などという気分の高揚から1～2週間しか経っていないのに、それらが随分前のように感じ、「昨年一年も早かった」と、“今年も”思ってしまう自分がいます(笑)。



「令和」になって6年が経過し、7年目に入りました。6年間の内、半分が“コロナ禍”、そして“大地震”もありました。昨年の「能登半島地震」「正月を避難所(学校)で」を経験し、「この正月も何か起こるのでは…」という一抹の不安……。この「地震」以前のように、心から安らげる正月休みではないなあ、という感覚もありました(一種のトラウマ?)

“今”がどのような時代なのか、思いつくままにキーワードを挙げると、「アフター・コロナ」「地球温暖化・気候変動」「情報化・ネット SNS 社会」「国際化・グローバル化」「少子高齢化・人口減少」「ジェンダー平等」「価値観の多様化・共生社会」「格差・分断化」「人工知能(AI)」……



「学校」は、言うまでもなく“社会”の一部ですから、これらのキーワードと無関係ではられません。教育内容面では、「PCを活用した学習/紙とのバランス/健康被害防止」「英語学習」「環境問題等、社会問題を考える学習」「互いの個性・違いを認め合い、支え合って生きていく“共生社会”を目指した学習」……。施設面では、温暖化による健康被害(熱中症等)防止のため、各教室にエアコンが設置されたり、ネット利用のための無線LANが整備されたりしています。今後は、人工知能(AI)を活用した学習も導入されることが予想されます。



水橋地区の学校統合(R8)に向けた協議も進んでいます。今年は「学校統合6か年計画(R2～R7)」の最終年です。現5年生以下は、三成中学校へ進学することなく、統合校(水橋学園)へ進みます。“水橋”が一皮むけて大きく成長しようとしています。今後、「水橋地区が求める統合校の姿」「義務教育学校(9年間)で育てたい子供の姿」等を保護者・地域の皆様と共有しながら、「ふるさと“水橋”」を大切にし、未来に向けて大きく脱皮する子供たちの育成に英知を結集していきましょう。私も水橋地域住民の一人として、微力ながら全力を尽くす所存です。

本年も宜しくお願い致します!

